

## ■ちーびし

### ○執筆者紹介

- ①生年・出身地、②所属、③専門領域、  
④研究業績、⑤奄美と関係した活動  
の順番で掲載しております。

#### ■永田 行博 (ながた ゆきひろ)

- ① 1939年  
② 鹿児島大学長  
③ 生殖生理学、婦人科内分泌学、不妊症学  
④ 『中高年女性医学入門』(企画・編集 永田行博)、医薬ジャーナル社(2003)、第5章「出生前診断G着床前診断」『新女性体系28遺伝の基礎と臨床』中山書店、p.345(2000)、『『受精卵の着床前診断』に関する報告』『鹿児島大学医学雑誌』52(3)、p.53(2000)など

#### ■木部暢子 (きべ のぶこ)

- ① 1955年・福岡県  
② 法文学部長  
③ 言語文化論  
④ 『鹿児島県のことば』明治書院 1997年  
『西南部九州二型アクセントの研究』勉誠出版 2000年  
「島が残した古態」大修館書店『月刊言語』33-1、2004年

#### ■山田 誠 (やまだ まこと)

- ① 1946年・香川県  
② 鹿児島大学法文学部経済情報学科地域計画講座教授・全学プロジェクト「奄美の『島』コスモス創出事業」代表  
③ 経済政策、地方財政、地域政策比較  
④⑤ 鹿児島大学プロジェクト「島嶼圏開発のランドデザイン」の研究代表者として、編著『奄美の多層圏域と離島政策』九州大学出版会(2005年)を刊行した。

#### ■梁川 英俊 (やながわ ひでとし)

- ① 1959年・東京都  
② 鹿児島大学法文学部人文学科ヨーロッパ・アメリカ総合文化講座教授  
③ 民族学  
④ *Merlin dans l'imaginaire breton depuis le XIX<sup>e</sup> siècle, IRIS, Centre de recherche sur l'imaginaire-Université Grenoble 3* 2001年  
「ブルターニュにおけるナショナリズムの誕生(一)～(四)」『鹿児島大学法文学部紀要 人文学科論集』第54号～第57号、2001年-2004年  
『しまうたの未来』、南太平洋海域調査研究報告 No.44、鹿児島大学多島圏研究センター、2006年  
⑥ 2005年度「多島域フォーラム」シンポジウム「しまうたの未来」コーディネーター

#### ■本田 碩孝 (ほんだ ひろたか)

- ① 1943年・鹿児島県  
② 徳之島郷土研究会会長・鹿児島大学共通教育非常勤講師(「奄美の民俗文化」担当)  
③ 民俗学、教育学  
④ 『ふるさとの歩み』編著、知覧町松ヶ浦校区義校会、2004年  
「徳之島の民話的世界—徳之島町井之川の事例」『奄美沖繩 民間文芸学』第5号(2005年)、第6号(2006年)  
⑤ 『徳之島郷土研究会報』編集・発行、研究会の開催(現在第28号を編集中)

#### ■二宮 忠信 (にのみや ただのぶ)

- ① 1950年・鹿児島県  
② 九州電力鹿児島支店  
④⑤ 沖永良部郷土研究会会員  
1996年から現在まで沖永良部を中心に島の暮らしの撮影を続行中  
朝日新聞に読者の写真で投稿多数。  
奨励賞3回 2回以上は受賞者はいない。

## ○編集後記

- 本号表紙の写真は、9月30日で引退したYS-11型機（日本エアコミューター）と平成18年9月3日（日）に徳之島町で開催された木部暢子研究科長による公開講座開講記念講演会の模様です。YS-11型機の写真は、二宮忠信さんにご提供頂きました。二宮さんには本号「島嶼スケッチ」に「YS-11搭乗体験記」も執筆頂きました。また木部研究科長には講演会の内容を「特別寄稿」として執筆いただきました。
- 本号「島嶼スケッチ」でもご紹介しましたが、平成18年11月24、25日に、奄美大島会場と徳之島会場で、平成19年度奄美サテライト教室の説明会が開催され、両会場とも多くの皆さんが参加下さいました。説明会開催にあたってご協力下さった多くの皆様にお礼申し上げます。
- 10月21日、大学院公開講座の講師として徳之島に行きました。せっかくの機会でしたので、黒糖焼酎を製造している奄美大島にしかわ酒造、奄美酒類（徳之島の5つの蔵元でつくる共同瓶詰め会社）、高岡醸造を見学しました。残念ながらまだ本格的な焼酎造りは始まっておりませんが、貴重なお話をうかがうことができました。

（編集担当、山本）

研究責任者 木部暢子  
奄美ニューズレター  
発行 鹿児島大学

編集責任者 奄美委員会  
AMAMI News Letter  
発行日 2006年12月31日